

参議院岡山県選挙区選出議員選挙公報

平成22年
7月11日執行

(両面をご覧ください。)

山田みか



MIKA

自民党公認
参議院岡山県選挙区候補者

山田みかプロフィール

- 1967年11月18日生(42歳)
- 学歴
- 1983年/岡山市立丸之内中学校卒業
- 1987年/岡山県立岡山朝日高校卒業
- 1991年/成城短期大学専攻科卒業
- 2003年/津田塾大学 学芸学部 国際言語学科卒業
- 職歴
- 1991年/三井造船株式会社
- 1993年/藤プレーキ工業株式会社
- 2002年/AKEBONO EUROPE SAS(フランス)

岡山から元気回復、自信回復!!

自民党を再生し、元気な日本を!!

①岡山にもっと働く場を

地域に雇用をつくる企業活動を支援。
福祉分野の拡充で若者の雇用を改善し、税制優遇で
企業の本社や工場の地方移転を促します。
トライアル雇用で新卒者の就職率100%を実現します。

②「ばらまき」から経済成長へ

国内総生産(GDP)成長率目標を名目4%に設定。
現行40%の法人税率を国際標準の20%台に下げ、中小
企業はさらなる軽減を進めます。健康・医療・環境など
の分野に集中投資します。

③安心できる社会保障を

特定不妊治療に必要な費用の全額助成、小学校給食の
無償化、高校・大学生への奨学金拡充を実施。国として
1000人体制の医師団を結成し、医師が不足する地
域に派遣します。

④世界トップレベルの教育立国に

幼児教育の無償化や小学校5・6年生への教科担当制
の導入、現行の6・3・3・4制の是非を検討します。
教員免許制度を改善し、教育現場の質を高めます。

自信があるのは、
真っ白な市民感覚。
そして、真っ赤な情熱も、
誰にも負けません!!



比例代表では「自民党比例候補者」が
「自民党」とお書きください。

(この選挙公報は候補者から提出された原稿を写真印刷したものです。)

ゆるぎない情熱で、民主党政権を支える！

21世紀 江田ビジョン

生活は 支えあい

男女が協力して差別的待遇や過重労働をなくし、子どもと生活を最優先して、福祉と教育の充実した、排除のない支えあいの社会をつくる。

経済は 分かちあい

生活の基礎である農林水産業と付加価値の高い産業分野の活力で、あらゆる人に雇用が保障された安心と分かちあいの経済をつくる。

公けは 市民と協働

行財政・税制改革でお金の流れを良くし、市民主体の社会的事業との協働で、暮らしに寄り添う透明度の高い行政や自治の公共システムをつくる。

世界は 共生と平和

アジアの穏やかな文明観と日本の科学技術力で東アジアをひとつに結び、平和、環境、人権、人間の安全保障が実現した、水と緑と共生の世界をつくる。

〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-17
江田五月選挙事務所 TEL: 086-238-7700 FAX: 086-238-7711
ホームページ <http://www.eda-jp.com/>

比例区は民主党候補に

菅直人首相は、父・江田三郎の最後の弟子であり、私にとっても33年来の市民政治の盟友です。政権交代に託した皆さんの期待に応えるためにも、菅政権を支える役目は、まず私が果たさなければなりません。

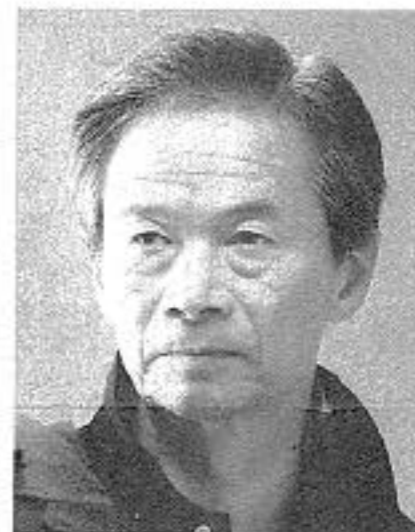
この3年間、参議院議長として良識を忘れず「ねじれ国会」を乗り切り、外国の賓客の接遇など、国の顔としての役目も果たしてきました。これらの経験で得られた知識と知恵のすべてを注いで、「21世紀ビジョン」に向けた道筋をつけ、未来への責任を果たすため全力投球します。

江田五月

「江田五月にあなたの1票を！」

私の本籍地は岡山です。江田五月さんは岡山の誇りであり、私の最も頼りにする兄貴分です。皆さんの圧倒的な支援をお願いします。

民主党代表 菅 直人



江田五月のあゆみ

- 1941年 岡山市生まれ 弘西小 / 旭中 / 朝日高 / 東京大学法学部卒業
- 1968年～ 東京、千葉、横浜で裁判官 (英国オックスフォード大学留学)
- 1977年 参議院議員当選 (全国区)
- 1983年～ 衆議院議員4回連続当選 社会民主連合代表
- 1993年 経川内閣で国務大臣
- 1998年～ 参議院議員2期当選 (岡山県選挙区) 民主党副代表 参議院「民主党・新緑風会」会長
- 2007年～ 参議院議長

The Democratic Party of Japan
民主党
江田五月

アメリカ、財界にモノ言える日本共産党の躍進を

私の決意



垣内雄一

プロフィール

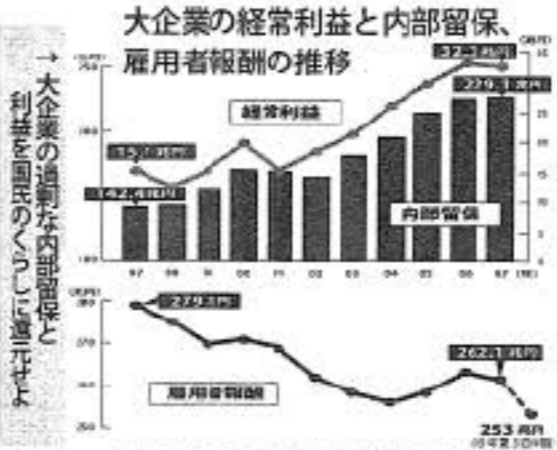
- 1964年玉野市生まれ。
- 神戸学院大学法学部卒業。
- 日本共産党青年同盟岡山県副委員長、日本共産党玉野地区委員長、党岡山地区常任委員などを歴任。
- 現在、党県常任委員、国民運動委員長。
- 家族は母、妻、一男、一女。
- 趣味は鉄道模型、ギター。

日本共産党



大企業から国民のくらし応援に

- 労働者派遣法を抜本改正し、「正社員があたり前」に。最低賃金を時給1,000円以上にするなど、人間らしく働けるルールを確立します。
- 「下請けいじめ」の一掃、中小企業予算の抜本的増額など、日本経済の「宝」である中小企業を支援します。
- 後期高齢者医療制度の廃止、国保料の1人1万円の引き下げなど社会保障を充実します。
- 認可保育所の増設など子育てを支援します。
- コメ、農産物の輸入自由化反対、価格・所得保障などで、食料自給率を高めます。



菅政権は、普天間問題では国内移設を「実現」すると宣言し、財界の強い意向に従って、法人税減税の穴埋めに消費税増税を推進する方向です。米國、財界いいなりでは政治は前に進みません。日本共産党は、志位委員長が訪米し沖縄県民の結核を米政府に伝えるなど、実際に米國、財界には「きりぎりす」を言いつつ共産党です。この党が伸びてこそ政治は変わります。私は、国民要求に応え現憲政を前に動かすために全力を尽くします。

財源は、消費税増税に頼らない

- ◇歳出改革—思いやり予算など軍事費を1兆円削る。320億円の政党助成金の廃止、ムダな大型事業を廃止する。
- ◇歳入改革—大企業・大資産家に経済力に応じた負担を求める。
 〆こうすれば7兆円～12兆円の財源はつくれます

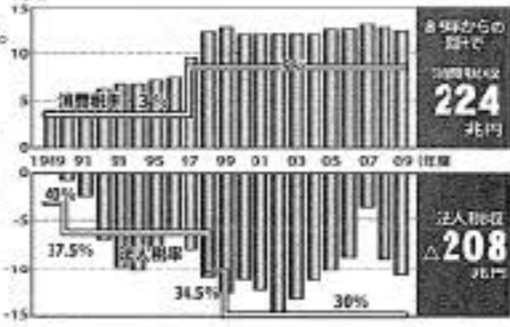
アメリカいいなりをやめて

対等・平等の日米友好条約を

普天間基地の無条件撤去を強く求めます。安保条約を廃棄して、憲法9条を生かし、核も基地もない平和な日本をめざします。



大企業減税の穴埋めの消費税の増税には絶対反対



比例代表は日本共産党とお書きください

参議院比例代表選挙投票日

平成22年7月11日(日)